

第402回市（入札日 2017年1月27日）

— 東大演習林材ほか良材多数出品。主力のナラなど高値 —

出品量は、前年同月比563立米減ながら3,000立米に迫る2,891立米で、最盛期らしい市でした。東大演習林材71立米をはじめ、マカバやナラなどの良材が多数出品され、買い意欲も旺盛で、“初市に相応しく”、元落ち1.6%、売上1億5千万円超の商いとなりました。平均単価も、前回比1,224円高となる53,069円でした。

次回（第403回、2月24日）もまだまだ最盛期、3,000立米の出品が目標とのことです。

○出品数量

官材・単 樺	451.1立米	524樺	1,120本
官材・ロット	108.6立米	22樺	596本
民材・単 樺	2,099.3立米	2,305樺	6,557本
民材・ロット	232.4立米	33樺	1,574本
計	2,891.5立米	2,884樺	9,847本

（樹種別）

タモ220.6立米・710本、マカバ73.2立米・121本、セン250.2立米・526本、ナラ764.6立米・2,247本、ニレ75.9立米・190本、キハダ15.4立米・47本、クルミ26.9立米・107本、アサダ24.1立米・87本、ホホ43.4立米・224本、エンジュ9.5立米・87本、カツラ95.5立米・216本、ザツカバ149.2立米・466本、シュリ15.8立米・66本、イタヤ120.8立米・488本、サクラ20.0立米・85本、シナ186.9立米・769本、メジロカバ665.4立米・3,024本、ウォールナット32.1立米・20本、アオダモ11.4立米・72本、その他54.0立米・192本（広葉樹計2,854.8立米・9,744本）、イチイ5.0立米・75本、アカエゾマツ9.6立米・7本、クロエゾマツ22.1立米・21本、アカマツ-立米・-本（針葉樹計36.7立米・103本）

○販売数量 2,846.0立米（元落ち率1.6%）

○販売金額 1億5,103万円（1立米あたり平均53,069円）

○主要樹種の平均単価（1立米あたり）

タモ	40,669円	キハダ	66,633円
マカバ	226,702円	カツラ	42,572円
セン	67,658円	ザツカバ	35,233円
ナラ	57,997円	メジロ	55,076円
ニレ	22,329円	ロット	26,188円

○高値（1立米あたり、外材・イチイ・エンジュは除く。）

1,610,000円（マカバ 7.0m、42cm、1本、1.325立米）

※落札結果は聞き取りによるため、漏れや誤りがある場合があります。（担当：嶋瀬）

（2016年2月9日作成）